

サーティファイ情報処理能力認定委員会 C 言語プログラミング能力認定試験 1 級
サンプル問題 正答例プログラム コンパイル上の注意

正答例プログラムは問題の指示に従って変更した箇所がわかりやすいように、マクロを使用した条件付きコンパイルで記述されております。実際の試験においてはプログラム中に変更箇所を明示する必要はありません。

各問題の正答例プログラムに基づいて、実行ファイルを生成するためには、正答例プログラムの全てのソースファイル(main.c, nyuukai.c, keisoku.c, sakujyo.c)の先頭に、＜図 1＞のように

`#define TOI1` もしくは `#define TOI2`

の記述を追加してコンパイルする必要があります。

＜図 1＞ (main.c の例)

```
#define TOI1
/*****
/* main.c
/* アスレチッククラブ会員管理プログラム
*****/
#include <stdio.h>
#include <string.h>
:
```

なお、コンパイル時にマクロ「TOI1」を与えるコンパイルオプションを使用すると、正答例プログラムの先頭に `#define TOI1` を記述しなくとも、各問題の正答例プログラムに基づく実行ファイルを生成することが可能です。

＜図 2＞は Borland C++でのコンパイルオプションを含むコマンドの例です。その他のコンパイラについては、お使いになっているコンパイラのヘルプでコンパイルオプションをご確認ください。

＜図 2＞ (Borland C++ の例)

```
bcc32 -DTOI1 -eprog.exe main.c nyuukai.c keisoku.c sakujyo.c
```

以 上